

TOHO CHEMICAL INDUSTRY CO LTD (GROUP)

中央区 - 日本 | 石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業

企業規模: M | 評価範囲 グループ

総合得点

➤ 62/100

パーセンタイル

57th



スコアカード

発行日：5 8月 2026

有効期限：5 8月 2027

総合得点

パーセンタイル

57th

➤ 62/100



環境

スコアへの影響 ●●●●



労働と人権

スコアへの影響 ●●●●



倫理

スコアへの影響 ●●○○



持続可能な資材調達

スコアへの影響 ●○○○



環境

スコアへの影響 ●●●●

● ➤ 63/100

環境 | 方針

スコアへの影響 ●●●●

● ➔ 25/100

方針は、特定のサステナビリティ問題に対処する一連の目標です。これは、影響を軽減し、リスクを低減し、パフォーマンスを向上させるという企業の意思を示しています。

強み

|                              |
|------------------------------|
| 環境方針を見直し修正するための正式なメカニズム      |
| 環境方針の適用範囲が指定されている            |
| 環境方針に対する専任の責任者               |
| エネルギー消費と温室効果ガスに関して設定された定量的目標 |
| エネルギー消費と温室効果ガスにおける環境方針       |
| 使用済み製品に関する環境方針               |
| 原材料・化学物質・廃棄物に関する環境方針         |

改善点

|      |                                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 中優先度 | 初歩的な環境方針：具体的な問題に関する情報が詳細ではない                                                         |
| 中優先度 | 顧客の健康と安全に関する方針について、証明書類が不十分である                                                       |
| 中優先度 | 水に関する方針について、証明書類が不十分である                                                              |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on water                           |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on air pollution                   |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on materials, chemicals, and waste |
| 低優先度 | 大気汚染に関する方針について、証明書類が不十分である                                                           |

環境 | 支持

スコアへの影響 ●○○○

● → 0/100

支持とは、公認の第三者機関が定めた目標や原則を達成するための貴社の公約またはコミットメントのことです。

改善点

|      |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| 低優先度 | 「環境」の項目に関する外部のイニシアチブや指針を支持しているかについて、決定的な情報がない |
|------|-----------------------------------------------|

環境 | 措置

スコアへの影響 ●●●●

● ↗ 100/100

措置とは、貴社のサステナビリティ方針とコミットメントをサポートするための貴社の実施対策のことです。

強み

|                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|
| 環境に関する緊急事態について措置を実施している                                             |
| 環境の変化による混乱に備えて緊急用の備蓄やセーフティネットが整備されている                               |
| 再封可能で返却可能な包装の使用                                                     |
| 作業工程の最適化を通じて、原材料の消費量を削減している                                         |
| 環境に優しい、またはバイオベースの製造材料の利用                                            |
| 有害物質の安全な取扱いと管理のため、従業員研修を提供している                                      |
| 有害物質または有害廃棄物の専門的な処理と安全な処分                                           |
| 代替品や有害性がより低い物質を事業活動で使用している                                          |
| 業務における物理的気候リスク評価を実施済み                                               |
| 危険な物質と高懸念物質（SVHC）の両方もしくはいずれか一方の使用に関する川下ユーザーへの情報伝達を行っている             |
| 製品の安全な使用に関する特定の情報を顧客に提供している                                         |
| 欧州化学物質庁（ECHA）への化学物質の申請を行っている                                        |
| 地下水の汚染を防ぐために管理措置を講じている                                              |
| 製品またはサービスに伴う健康・安全問題に関する、顧客向け啓発プログラムがある                              |
| 複数の製品向けの安全データシート（SDS）を提供している                                        |
| 騒音を軽減する業務プロセスやテクノロジーを導入している                                         |
| その他の水効率または廃水の放出を管理するための実施対策                                         |
| 廃水の水質評価を受けている                                                       |
| エネルギー資源の保護／気候変動対策に関して従業員の教育・研修を実施                                   |
| REACH規則に対応した安全データシート（SDS）を提供している                                    |
| リコール対策を講じている                                                        |
| 廃熱回収システムやコージェネレーション装置を使用                                            |
| 技術や装置のアップグレードによりエネルギー効率を改善                                          |
| 重大な大気汚染の量に関する定期的な分析や、環境大気質のモニタリング（PM、NOx、SO2、VOC、重金属などの濃度試験）を実施している |
| VOC、SO2、NOx、重金属などの排出を軽減する業務プロセスやテクノロジーを導入している                       |
| 廃棄経路に従って廃棄物を内部で分別し、廃棄している                                           |
| 定期的な騒音値測定（現場境界で行われる騒音値測定）を行っている                                     |
| 廃棄経路のマッピングを行っている                                                    |

改善点

|      |                                                                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中優先度 | 大気汚染物質の排出およびその他公害を防止する実施対策を講じている裏付けとなる証拠はない                                                                               |
| 中優先度 | 粒子状物質の排出を軽減するための業務プロセスやテクノロジー導入の裏付けとなる証拠はない                                                                               |
| 中優先度 | 雨水貯留システム導入の裏付けとなる証拠はない                                                                                                    |
| 中優先度 | 水をリサイクルまたは再利用する技術や慣行の裏付けとなる証拠はない                                                                                          |
| 中優先度 | 水監査の裏付けとなる証拠はない                                                                                                           |
| 低優先度 | より高いエネルギー効率またはより低いカーボン排出原単位を達成するための燃料切り替えを裏付ける証拠がない                                                                       |
| 低優先度 | 資材の再利用、再生、転用などを通じた社内廃棄物の削減を裏付ける証拠がない                                                                                      |
| 低優先度 | No supporting evidence of an information on proper disposal of product to promote circular material flow                  |
| 低優先度 | 業務における水域リスク評価の実施を裏付ける証拠はない                                                                                                |
| 低優先度 | 再生可能エネルギーの購入または生成を裏付ける証拠がない                                                                                               |
| 低優先度 | 有害物質の表示、保管、取り扱い、輸送に関する実施対策を裏付ける証拠がない                                                                                      |
| 低優先度 | No supporting evidence of an optimization of primary packaging to reduce its dimensions, weight, or simplify material mix |
| 低優先度 | No supporting evidence of a collaboration with external stakeholders for product end-of-life management                   |
| 低優先度 | 環境の変化による混乱に備えて緊急用の備蓄やセーフティネットが整備されたことを裏付ける証拠はない                                                                           |

環境 | 認証

スコアへの影響 ●●●○

● → 100/100

認証は、貴社の国際規格（ISO14001など）に対する適合を確認するものです。外部の認証機関から発行されたものでなければなりません。

強み

|                   |
|-------------------|
| ISO 14001認証を受けている |
|-------------------|

環境 | 報告

スコアへの影響 ●●●○

● → 25/100

報告は、貴社のサステナビリティの実践度を測る定量的なKPIに基づいています。

強み

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| スコープ1温室効果ガスの総排出量を報告している                                     |
| スコープ2温室効果ガス総排出量（マーケット基準）の報告                                 |
| スコープ2温室効果ガス総排出量（ロケーション基準）の報告                                |
| 持続可能な開発目標（SDGs）に向けた進捗状況を公表している                              |
| 水の総消費量を報告している                                               |
| カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）に報告していると答えている                     |
| 有害廃棄物総発生量を報告している                                            |
| 非有害廃棄物総発生量を報告している                                           |
| 総エネルギー消費量に関して報告を行っている                                       |
| CSR報告に関して、マテリアリティ（重要課題）分析が行われている                            |
| 繊細な生物多様性が存在する地域やその周辺に拠点を置いていない、またはそこで事業活動を行っていないと答えている（未確認） |

改善点

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 高優先度 | 環境項目に関する報告が不十分である                                |
| 低優先度 | スコープ3温室効果ガス総排出量の報告を裏付ける証拠がない                     |
| 低優先度 | 回収再利用廃棄物総重量に関する報告を裏付ける証拠がない                      |
| 低優先度 | スコープ2温室効果ガス総排出量（ロケーション基準）の数値が証明書類で確認されていない。      |
| 低優先度 | スコープ2温室効果ガス総排出量（マーケット基準）の数値が証明書類で確認されていない        |
| 低優先度 | スコープ1温室効果ガス総排出量で報告されている数値が証明書類で確認されていない          |
| 低優先度 | スコープ3下流温室効果ガス総排出量の報告を裏付ける証拠がない                   |
| 低優先度 | 大気汚染物質の総重量に関する報告を裏付ける証拠がない                       |
| 低優先度 | リサイクルおよび再利用された水の総量の報告を裏付ける証拠がない                  |
| 低優先度 | 消費された再生可能エネルギー総量に関する報告を裏付ける証拠がない                 |
| 低優先度 | サステナビリティレポート指標は第三者保証または検証の報告を裏付ける証拠がない           |
| 低優先度 | サステナビリティレポート基準（GRI、ESRS、IFRSなど）に準拠した報告を裏付ける証拠がない |

環境 | 360°ウォッチ

スコアへの影響 ●●●●

● → 75/100

360°ウォッチ結果指標は、パブリックドメイン内の数千もの情報元をスキャンして収集したデータに基づいてスコア付けされています。これにより、貴社のサステナビリティ管理の概要を把握することができます。

強みと改善点

まだ推奨事項はありません

貴社のスコアに影響を与えたニュース (3)

公開データベースにあった、貴社に関するニュース。

2024 Government Credit Rating for Toho Chemical Industry Shanghai Co., Ltd. [CN]

www.en.insblue.com.cn | 01 1月 2024

For 2024, Toho Chemical Industry Shanghai Co., Ltd. was rated Green by the Corporate Environmental Credit Rating System in Shanghai. Green indicates that the company complied with all legal requirements, did not receive community complaints, earned full credit on evaluation indicators within the past 3 years AND participated in more than 2 voluntary activities including obtaining ISO 14001 certification, participating in Cleaner Production audit, supporting community NGO or engaging in responsible purchasing.

360°ウォッチ

スコアへの影響

どちらでもない

深刻度

どちらでもない

1月 2024から2月 2029まで有効



Oil leaks from Toho Chemical Industry's Yokkaichi plant. 300-400 liters of oil goes down the drain to the river. [JP]

www.tokai-tv.com | 27 6月 2023

On the afternoon of the 26th in Yokkaichi, Mie Prefecture, an accident at the Toho Chemical Industry Yokkaichi plant caused an oil leak into a nearby river. The incident occurred around 5:30 PM while transferring the flammable liquid between tanks due to a loose pipe connection. Although most of the oil was recovered on-site, approximately 300-400 liters flowed into the river. No health impacts have been reported, and firefighters are using oil fences for cleanup.

360°ウォッチ

スコアへの影響

どちらでもない

深刻度

どちらでもない

6月 2023から7月 2028まで有効



No records found for this company on Compliance Database

09 7月 2026

360°ウォッチ

スコアへの影響

どちらでもない

深刻度

該当なし

7月 2026から7月 2031まで有効

労働と人権

スコアへの影響 ●●●●

● ▽ 62/100

労働と人権 | 方針

スコアへの影響 ●●●●

● ▽ 50/100

方針は、特定のサステナビリティ問題に対処する一連の目標です。これは、影響を軽減し、リスクを低減し、パフォーマンスを向上させるという企業の意思を示しています。

強み

|                                |
|--------------------------------|
| 労働と人権方針の適用範囲が指定されている           |
| 労働と人権方針を見直し修正するための正式なメカニズム     |
| 労働または人権の大半の項目について、標準的な方針を設けている |
| 従業員の安全衛生に関する労働と人権方針            |
| 労働条件に関する労働と人権方針                |
| キャリアマネジメントと教育に関する労働と人権方針       |
| 児童労働・強制労働・人身売買に関する労働と人権方針      |
| 差別やハラスメントの防止に関する労働と人権方針        |

改善点

|      |                                                                                               |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中優先度 | 社会対話に関する方針について、証明書類が不十分である                                                                    |
| 低優先度 | 労働と人権分野の項目に関して、定量的な目標が設けられていない                                                                |
| 低優先度 | 労働と人権方針に対して専任の責任者があることを裏付ける証拠がない                                                              |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on preventing discrimination and harassment |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on career management and training           |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on employee health and safety               |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on working conditions                       |
| 低優先度 | 生活賃金に関して定量目標の設定がない                                                                            |

労働と人権 | 支持

スコアへの影響 ●○○○

● → 0/100

支持とは、公認の第三者機関が定めた目標や原則を達成するための貴社の公約またはコミットメントのことです。

改善点

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 低優先度 | 「労働と人権」の項目に関する外部のイニシアチブや指針を支持しているかについて、決定的な情報がない |
|------|--------------------------------------------------|

労働と人権 | 措置

スコアへの影響 ●●●●

● → 75/100

措置とは、貴社のサステナビリティ方針とコミットメントをサポートするための貴社の実施対策のことです。

強み

|                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|
| その他、従業員の安全衛生に関する実施対策                                                |
| 同一労働同一賃金を確保するための実施対策                                                |
| 職業訓練および昇進過程における差別を防止するための実施対策                                       |
| 給与体系（給与テーブル、昇給手順など）が従業員に通達されている                                     |
| 従業員満足度調査を実施している                                                     |
| 従業員が企業の健康保険によってカバーされている                                             |
| 時間外労働や一般的な勤務時間以外の労働（早朝勤務や深夜勤務など）に対する手当や代休などの補償が設けられている              |
| 労働時間、残業、または休暇に関する団体交渉労働協約                                           |
| 差別やハラスメントの防止に関する団体交渉労働協約                                            |
| 障害を持つ従業員への差別のない環境を促進するための実施対策                                       |
| 差別やハラスメントの項目に関する苦情処理制度                                              |
| キャリアマネジメントと教育に関する団体交渉労働協約                                           |
| 採用段階における差別を防止するための実施対策                                              |
| 従業員代表や従業員代表組織（労働協議会など）を設けている                                        |
| 家族向けプログラム（Family Friendly programs、FFP）の実施（例：育児または介護休暇、育児サービスまたは手当） |
| 差別やハラスメントに関する意識向上研修                                                 |
| 職場におけるハラスメントを防止するための実施対策                                            |
| 従業員の健康と安全に関する緊急実施対策計画                                               |
| フレックスタイムやリモートワークなど融通の利く働き方                                          |
| 従業員の安全衛生に関する団体交渉労働協約                                                |
| 全従業員の個人能力開発計画及びキャリアプラン                                              |
| 有害物質への暴露を抑制するための実施対策を講じている                                          |
| 団体交渉賃金                                                              |
| 能力向上トレーニングを提供している                                                   |
| 社内異動を促す実施対策                                                         |
| 職場におけるストレスと精神的健康について対処するための実施対策を講じている                               |
| 騒音への暴露を防ぐための実施対策を講じている                                              |
| 機器の安全検査または監査を行っている                                                  |
| 安全衛生に関するリスクや最良の作業慣行について、従業員に教育訓練を行っている                              |
| 個人の業績に関して定期的な評価を行っている                                               |
| 従業員の健康診断を定期的に行っている                                                  |
| この企業は、主な事業が現地の法律/規制によって結社の自由の権利が制限されていない地域に所在していると回答している（未検証）       |
| 敷地内の非正規採用者およびその他の契約労働者の安全衛生を確保するための実施対策                             |

改善点

|      |                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------|
| 中優先度 | 児童労働、強制労働、人身売買に関する実施対策を裏付ける証拠がない                                       |
| 低優先度 | 適切な賃金を確保するための実施対策を裏付ける証拠がない                                            |
| 低優先度 | 生活賃金に関する実施対策を裏付ける証拠がない                                                 |
| 低優先度 | 採用前の候補者の年齢確認の実施を裏付ける証拠がない                                              |
| 低優先度 | 従業員の安全衛生のリスク評価を実施していることを裏付ける証拠がない                                      |
| 低優先度 | 労働条件に関する苦情処理制度を裏付ける証拠がない                                               |
| 低優先度 | 児童労働、強制労働、人身売買に関する従業員研修を裏付ける証拠がない                                      |
| 低優先度 | 労働時間と時間外労働を管理するための実施対策を裏付ける証拠がない                                       |
| 低優先度 | 健康や安全に関わる事故従業員が労働安全衛生上の事故、リスク、懸念事項について報告するための苦情処理手順を整備していることを裏付ける証拠がない |
| 低優先度 | 児童労働、強制労働、人身売買項目に関する苦情処理制度をさらに発展させてください                                |

労働と人権 | 認証

スコアへの影響 ●●●○

● → 50/100

認証は、貴社の国際規格（ISO14001など）に対する適合を確認するものです。外部の認証機関から発行されたものでなければなりません。

強み

|                    |
|--------------------|
| ISO 45001認証を取得している |
|--------------------|

改善点

|      |                                                                                                                                                                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 低優先度 | Current labor and human rights certification(s) are insufficiently stringent in their requirements. The existing frameworks lack the necessary depth and comprehensive scope to effectively address all material issues within the theme |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

労働と人権 | 報告

スコアへの影響 ●●●○

● ↘ 25/100

報告は、貴社のサステナビリティの実践度を測る定量的なKPIに基づいています。

強み

|                                  |
|----------------------------------|
| 持続可能な開発目標（SDGs）に向けた進捗状況を公表している   |
| 組織の役員会に占める女性の割合に関して報告を行っている      |
| CSR報告に関して、マテリアリティ（重要課題）分析が行われている |

改善点

|      |                                                    |
|------|----------------------------------------------------|
| 高優先度 | 労働と人権分野の項目に関する報告が不十分である                            |
| 低優先度 | 全従業員の年間総報酬の中央値に対する、最も給与の高い個人の年間総報酬の比率の報告を裏付ける証拠がない |
| 低優先度 | 業務上の傷害、死亡および疾病による損失日数の報告を裏付ける証拠がない                 |
| 低優先度 | 記録可能な業務上の事故の報告を裏付ける証拠がない                           |
| 低優先度 | サステナビリティレポート指標は第三者保証または検証の報告を裏付ける証拠がない             |
| 低優先度 | サステナビリティレポート基準（GRI、ESRS、IFRSなど）に準拠した報告を裏付ける証拠がない   |
| 低優先度 | 生活賃金項目に関する報告を裏付ける証拠がない                             |
| 低優先度 | 従業員1人当たりの平均研修時間に関する報告を裏付ける証拠がない                    |

労働と人権 | 360°ウォッチ

スコアへの影響 ●●●●

● ↗ 75/100

360°ウォッチ結果指標は、パブリックドメイン内の数千もの情報元をスキャンして収集したデータに基づいてスコア付けされています。これにより、貴社のサステナビリティ管理の概要を把握することができます。

強みと改善点

まだ推奨事項はありません

貴社のスコアに影響を与えたニュース (1)

公開データベースにあった、貴社に関するニュース。

No records found for this company on Compliance Database

09 7月 2026

360°ウォッチ

スコアへの影響

どちらでもない

深刻度

該当なし

7月 2026から7月 2031まで有効

倫理

スコアへの影響 ●●○○

● ↘ 57/100

倫理 | 方針

スコアへの影響 ●●●●

● → 50/100

方針は、特定のサステナビリティ問題に対処する一連の目標です。これは、影響を軽減し、リスクを低減し、パフォーマンスを向上させるという企業の意思を示しています。

強み

|                                |
|--------------------------------|
| 倫理方針を見直し修正するための正式なメカニズム        |
| 倫理方針の適用範囲が指定されている              |
| 資金洗浄（マネー・ローンダリング）に関する方針        |
| 利害の対立に関する方針                    |
| 腐敗行為に関して方針を設けている               |
| 詐欺に関する方針                       |
| 倫理項目に関する大半の項目について、標準的な方針を設けている |
| 情報セキュリティに関する方針を設けている           |

改善点

|      |                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------|
| 低優先度 | 従業員から倫理方針について署名による同意を得ていることを裏付ける証拠がない                       |
| 低優先度 | 倫理方針に対して専任の責任者があることを裏付ける証拠がない                               |
| 低優先度 | 方針違反に対する懲戒処分規定を裏付ける証拠がない                                    |
| 低優先度 | 倫理項目に関する詳細な事例（ガイドラインやQ&A）を裏付ける証拠がない                         |
| 低優先度 | No supporting evidence of quantitative target set on ethics |

倫理 | 支持

スコアへの影響 ●○○○

● → 0/100

支持とは、公認の第三者機関が定めた目標や原則を達成するための貴社の公約またはコミットメントのことです。

改善点

|      |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| 低優先度 | 「倫理」の項目に関する外部のイニシアチブや指針を支持しているかについて、決定的な情報がない |
|------|-----------------------------------------------|

倫理 | 措置

スコアへの影響 ●●●●

● → 75/100

措置とは、貴社のサステナビリティ方針とコミットメントをサポートするための貴社の実施対策のことです。

強み

|                                              |
|----------------------------------------------|
| 情報セキュリティに関するリスク評価を実施している                     |
| 利害関係者が情報セキュリティ問題について報告するための内部通報手順            |
| 情報セキュリティ侵害防止のための意識向上トレーニング                   |
| 利害関係者が腐敗行為について報告するための内部通報手順                  |
| 汚職および贈収賄防止に関する従業員研修                          |
| 腐敗行為防止のため、統制手順の監査を行っている                      |
| 機密情報の侵害を管理するための、インシデントレスポンス手順（IRP）           |
| 顧客またはクライアントのデータを不正アクセスまたは漏洩から保護するための対策を講じている |

改善点

|      |                                         |
|------|-----------------------------------------|
| 高優先度 | 腐敗行為リスク評価を裏付ける証拠がない                     |
| 低優先度 | センシティブな取引（贈呈品、接待など）に関する承認手順を裏付ける証拠がない   |
| 低優先度 | 第三者に対する腐敗行為防止デューディリジェンス プログラムを裏付ける証拠がない |

倫理 | 認証

スコアへの影響 ●●●○

● → 25/100

認証は、貴社の国際規格（ISO14001など）に対する適合を確認するものです。外部の認証機関から発行されたものでなければなりません。

改善点

|      |                                                   |
|------|---------------------------------------------------|
| 中優先度 | No supporting evidence of ISO 27001 certification |
| 中優先度 | No supporting evidence of ISO 37001 certification |

倫理 | 報告

スコアへの影響 ●●●○

● ⇨ 0/100

報告は、貴社のサステナビリティの実践度を測る定量的なKPIに基づいています。

強み

|                                  |
|----------------------------------|
| 持続可能な開発目標（SDGs）に向けた進捗状況を公表している   |
| CSR報告に関して、マテリアリティ（重要課題）分析が行われている |

改善点

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 高優先度 | 倫理項目に関する報告を裏付ける証拠がない                             |
| 低優先度 | サステナビリティレポート指標は第三者保証または検証の報告を裏付ける証拠がない           |
| 低優先度 | サステナビリティレポート基準（GRI、ESRS、IFRSなど）に準拠した報告を裏付ける証拠がない |

倫理 | 360°ウォッチ

スコアへの影響 ●●●●

● → 75/100

360°ウォッチ結果指標は、パブリックドメイン内の数千もの情報元をスキャンして収集したデータに基づいてスコア付けされています。これにより、貴社のサステナビリティ管理の概要を把握することができます。

強みと改善点

|              |
|--------------|
| まだ推奨事項はありません |
|--------------|

貴社のスコアに影響を与えたニュース (2)

公開データベースにあった、貴社に関するニュース。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div><div>Possible Information Leakage from Data Center Server - Toho Chemical Industry [JP]</div><div>www.security-next.com   09 5月 2023</div><div>Toho Chemical Industry revealed that a cyberattack on their data center server on February 26 led to potential data leakage. Announced on February 28, the investigation confirmed stolen data by April 26. Compromised information includes names, addresses, phone numbers, and emails of business partners, job applicants, shareholders, and former employees, along with sensitive personal data like bank and social security numbers. The attack exploited server vulnerabilities. The company is enhancing security measures and has seen no impact on backups or employee PCs. Critical systems</div></div> | <div><div>360°ウォッチ</div><div>スコアへの影響</div><div>深刻度</div><div>どちらでもない</div><div>2月 2023から3月 2023まで有効</div><div><div>📄</div><div>👥</div><div>📊</div><div>🔗</div></div></div> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

No records found for this company on Compliance Database

09 7月 2026

360°ウォッチ

スコアへの影響

どちらもでない

深刻度

該当なし

7月 2026から7月 2031まで有効

持続可能な資材調達

スコアへの影響 ●○○○

● ↗ 63/100

持続可能な資材調達 | 方針

スコアへの影響 ●●●●

● → 75/100

方針は、特定のサステナビリティ問題に対処する一連の目標です。これは、影響を軽減し、リスクを低減し、パフォーマンスを向上させるという企業の意思を示しています。

強み

持続可能な調達方針を見直し修正するための正式なメカニズム

持続可能な調達方針の適用範囲が指定されている

紛争鉱物に関する方針を設けている

環境慣行と社会慣行の両方に関して、包括的な持続可能な調達方針を設けている

改善点

中優先度 パーム油およびパーム油を使用した製品を持続可能な調達先から購入するための方針について、証明書類が不十分である

低優先度 持続可能な調達方針に対して専任の責任者があることを裏付ける証拠がない

低優先度 No supporting evidence of quantitative target set on sustainable procurement

持続可能な資材調達 | 支持

スコアへの影響 ●○○○

● → 0/100

支持とは、公認の第三者機関が定めた目標や原則を達成するための貴社の公約またはコミットメントのことです。

改善点

低優先度 No supporting evidence of an endorsement of external initiatives or principles on sustainable procurement

持続可能な資材調達 | 措置

スコアへの影響 ●●●●

● → 50/100

措置とは、貴社のサステナビリティ方針とコミットメントをサポートするための貴社の実施対策のことです。

強み

環境および社会活動に関するサプライヤーの評価

サプライヤーに対するサステナビリティ行動規範を設けている

改善点

|      |                                                        |
|------|--------------------------------------------------------|
| 中優先度 | REACH規制に関してサプライヤーのコンプライアンスを管理するための実施対策を裏付ける証拠がない       |
| 中優先度 | サプライチェーンにおけるサステナビリティへの悪影響のリスク評価を裏付ける証拠がない              |
| 中優先度 | サプライヤーの環境および社会項目について現地監査の実施を裏付ける証拠がない                  |
| 中優先度 | サプライヤーとの契約書に社会および環境に関する条項を組み込んでいることを裏付ける証拠がない          |
| 中優先度 | サプライチェーン内の社会及び環境項目に関して、バイヤーに対する独自の研修を行っていることを裏付ける証拠がない |
| 低優先度 | 紛争鉱物の課題を緩和するための実施対策を裏付ける証拠がない                          |

持続可能な資材調達 | 認証

スコアへの影響 ●●●○

● ➤ 75/100

認証は、貴社の国際規格（ISO14001など）に対する適合を確認するものです。外部の認証機関から発行されたものでなければなりません。

強み

|                                          |
|------------------------------------------|
| RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）サプライチェーン認証を取得している |
|------------------------------------------|

改善点

|      |                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 低優先度 | Current sustainable procurement certification(s) are insufficiently stringent in their requirements. The existing frameworks lack the necessary depth and comprehensive scope to effectively address all material issues within the theme |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

持続可能な資材調達 | 報告

スコアへの影響 ●●●○

● ➤ 0/100

報告は、貴社のサステナビリティの実践度を測る定量的なKPIに基づいています。

強み

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 紛争鉱物報告テンプレート（CMRT）により、紛争鉱物に関するデューデリジェンス報告書を発行している |
| 持続可能な開発目標（SDGs）に向けた進捗状況を公表している                    |
| CSR報告に関して、マテリアリティ（重要課題）分析が行われている                  |

改善点

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 高優先度 | 持続可能な資材調達に関する報告を裏付ける証拠がない                        |
| 低優先度 | スコープ3上流温室効果ガス総排出量の報告を裏付ける証拠がない                   |
| 低優先度 | サステナビリティレポート指標は第三者保証または検証の報告を裏付ける証拠がない           |
| 低優先度 | サステナビリティレポート基準（GRI、ESRS、IFRSなど）に準拠した報告を裏付ける証拠がない |
| 低優先度 | パーム油に関する報告を裏付ける証拠がない                             |

持続可能な資材調達 | 360°ウォッチ

スコアへの影響 ●●●●

● ➔ 75/100

360°ウォッチ結果指標は、パブリックドメイン内の数千もの情報元をスキャンして収集したデータに基づいてスコア付けされています。これにより、貴社のサステナビリティ管理の概要を把握することができます。

強みと改善点

|  |
|--|
|  |
|--|

まだ推奨事項はありません

貴社のスコアに影響を与えたニュース (1)

公開データベースにあった、貴社に関するニュース。

No records found for this company on Compliance Database

09 7月 2026

360°ウォッチ

スコアへの影響

どちらでもない

深刻度

該当なし

7月 2026から7月 2031まで有効

以下の免責事項は、お客様がEcoVadisと契約関係にない場合に適用されます：

- このスコアカードは発行日から12ヶ月間有効です。この評価およびスコアカードは、評価対象企業から提供された情報と業界のベストプラクティスおよびEcoVadisの評価手法に基づいて作成されています。これは、同様の評価を実施している他の企業が使用する手法とは異なる場合があります。EcoVadisは、評価および/またはこのスコアカードに基づいて、第三者が行ういかなる実施対策および/または意思決定（投資判断を含む）について、一切の責任を負いません。
- このスコアカードは評価を行った時点で、EcoVadisに開示された情報およびニュースリソースに基づいています。スコアカードの有効期間中に情報や状況に重大な変化があった場合、EcoVadisはスコアカードを保留とし、適切と判断される場合には再評価を行い、場合によっては改訂版スコアカードを発行する権利を留保します。
- このスコアカードはEcoVadisの知的財産であり、EcoVadisとの書面による合意に別段の合意がない限り、(i)コピー、修正、翻訳、出版、複製および/または、(ii)他のCSR/ESG評価の一部として、もしくはそれに関連して使用してはなりません。
- このスコアカードはEcoVadisの機密情報です。EcoVadisとの書面による合意に別段の合意がない限り、本スコアカードと評価は、収益創出に関連する事業活動の一部として、またはそれに関連して、第三者によって使用されてはなりません（共有された場合は、第三者の内部目的のみに使用される場合があります）。
- Selectプランを持つ評価対象企業のスコアカードのみEcoVadisソリューション以外の金融機関が提供するESGに連動したローンや類似の商品の目的に使用することができます。
- この評価およびスコアカードは、評価対象企業から提供された情報と業界のベストプラクティスおよびEcoVadisの評価手法に基づいて作成されています。これは、同様の評価を実施している他の企業が使用する手法とは異なる場合があります。EcoVadisは、評価および/またはこのスコアカードに基づいて、第三者が行ういかなる実施対策および/または意思決定（投資判断を含む）について、一切の責任を負いません。